

GEヘルスケア・ジャパン超音波診断装置
「Venue 40 Musculoskeletal」を発売
～簡便な操作性と高画質を両立した
整形外科およびリウマチ科向け装置～
(2009/10/8)

GEヘルスケアグループの日本法人であるGEヘルスケア・ジャパン(株)は10月9日(金)、GE製超音波診断装置の新ブランド「Venue(ヴェニユ)」の第2弾「Venue 40 Musculoskeletal(ヴェニユ・フォーティ・マスキュロスkeletal)」を発売する。

Venue 40 Musculoskeletalは整形外科およびリウマチ科向け装置で、その最大の特長は両診療科医が日常的に検査する骨や軟骨、筋、腱、靭帯、末梢神経、血管などの運動器に対して、同社上位機種と同等レベルの超音波画像を、簡便な操作で描出可能にしたことである。なお、Musculoskeletalは「筋骨格」のことで、製品名に整形外科・リウマチ科向けと謳っている超音波診断装置は日本初となる。

整形外科やリウマチ科における画像診断は、これまでX線やMRI、CTなどが中心であったが、超音波診断装置の機能の劇的な向上により、臨床的な価値が見直され近年急速にニーズが高まっている。

運動器を対象とする整形外科において、超音波診断装置は、関節などの運動器を直接かつ動的・リアルタイムに診断できる利点がある。また、超音波ガイド下の穿刺・腫瘍への針生検や神経ブロック、治療過程の経時的評価としても利用可能。

一方、リウマチ領域では、パワードプラなどを用いた滑膜肥厚に対する検査が骨破壊の早期予防につながるのとされ、世界的に利用が伸びており、特に欧州では既に9割以上のリウマチ科施設で超音波装置が利用されている。

一方で、旧来の超音波診断装置は、臨床検査技師や内科・循環器科・産婦人科などヘビーユーザーを想定した装置であり、これから超音波を始める医師向けに、診療科で求められる操作性や専用機能を持った簡便な装置が求められていた。

そのような中、Venue 40 Musculoskeletalは、小型でありながら、ボタン操作を4つに絞リタッチパネル式を採用した直感的な操作性をはじめ、GE独自の画質技術、ならびに骨や筋、靭帯、末梢神経など各運動器に最適な描出条件のプリセット機能などを搭載、これまで超音波診断装置の使用経験がない整形外科医やリウマチ医も簡便に高画質による画像の検査ができるようにした。(次頁に続く)

Venue 40 Musculoskeletalの臨床評価を実施した済生会吹田病院副院長の黒川正夫氏、また名古屋スポーツクリニック院長の杉本勝正氏は、Venue 40 Musculoskeletalの臨床的有用性を高く評価している。

黒川正夫氏：『超音波診断装置はすべての整形外科医が一人一台持たなければならないツールです。肩関節腱板断裂や筋断裂だけでなく、超音波ガイド下での滑液胞への穿刺など、リアルタイムでの診断が可能です。場所を選ばず高画像が手に入るVenue 40 Musculoskeletalは整形外科医の診断レベルをワンランク上げると同時に、超音波診断装置の普及に大きく寄与するでしょう』

杉本勝正氏：『整形外科において超音波診断装置は、肩関節・スポーツ障害・軟部腫瘍など8割以上の患者さんに適用が可能であり、内科の聴診器と同じように外来で利用することが出来ます。この点、Venue 40 Musculoskeletalは、見やすいモニタと簡便な操作性だけでなく、今までにないパワーを持つ高画質の画像がデスクの上で簡単に手に入り、診察に集中することができます』

同社では、Venueブランドの市場投入を機に、これまで超音波診断装置の使用経験がない診療科の医師に対し、超音波診断装置の有効性に関する

セミナーを実施するなど、教育面での充実も図り、被ばくもなく安全性の高い超音波診断装置のさらなる普及を目指す。特に、麻酔科・ペインクリニック領域と整形外科領域では、専用ウェブサイト(麻酔科・ペインクリニック領域

: www.gehealthcare.co.jp/anes-us

整形外科領域

: www.gehealthcare.co.jp/msk

を開設し、臨床・教育／セミナー・製品情報を提供するほか、超音波診断装置の使い方やプローブの当て方から臨床のポイントを説明した超音波ハンドブックを無料で配布している。

<主な特長>

● シンプルかつ高い操作性

◇ボタン4つのシンプルな操作：主要な操作ボタンは、「Freeze(止める)」、「Store(保存)」、「Gain(明るさ調整)」、「Depth(診断する深さの調整)」のわずか4つに絞ることで、超音波診断装置未経験者はもちろんあらゆるユーザーが直感的に操作可能。日本語での表示も選択可能

(次頁に続く)

◇専用キーボードをなくし、スタイラスペンによるタッチパネル式の操作で利便性を向上 電源を入れてから立ち上がるまでの時間はわずか17秒で約1時間のバッテリー駆動が可能

◇移動用の上下可動式ドッキングカートと設置用のドッキングステーションを用意、外来だけでなく、手術室など場所を選ばず使用可能

● 整形外科・リウマチ科での

使用ニーズにマッチした機能性

◇整形外科やリウマチ科での検査に最適な検査条件を予め設定、医師の手技への集中と操作の効率化を実現

◇高周波ワイドバンドプローブを採用。深さに応じて設定などを自動最適化し、鮮明画像を提供

◇短軸・長軸双方での穿刺ガイドラインを提供

◇継ぎ目やフレームがなく、表面の汚れをふき取りやすいデザイン

● GEが長年培ってきた高画質技術を搭載

◇どの角度からも視認性が高い10.4インチモニターを採用

◇骨・軟骨・筋・腱・靭帯・末梢神経・血管など主要な運動器をクリアに描出できる高い解像

◇描出状況に合わせて画像の自動最適化が可能



GEヘルスケア
(Venue 40 Musculoskeletal)



Venue 40 Musculoskeletalで
撮影した肩関節腱板完全断裂像